

# アトピー性皮膚炎Q&A

## 1. アトピー素因とは？

アトピー性皮膚炎といわれますが、このアトピーとはいったいどういう意味でしょう。アトピー体質は、遺伝子に関係しており、2～3割の人はこのアトピー素因を持っているといわれています。しかし現実にそんなに多くの患者さんがいるわけではありません。また、昔はそのような人はほとんどいませんでした。ということは、現在の生活環境がアトピー体質を作り上げたといっても過言ではありません。

## 2. アトピー性皮膚炎とは？

日本皮膚科学会によると「アトピー性皮膚炎は、増悪<sup>ぞうあく</sup>、緩解<sup>かんがい</sup>を繰返す、痒<sup>かゆみ</sup>のある湿疹<sup>しっしん</sup>を主病変とする疾患であり、患者の多くはアトピー素因を持つ。」と定義されています。

## 3. アレルギー反応とは？

アレルギー反応とは、もともと人に備わる重要な防衛反応で、人体に有害物質が進入したときにそれを体外へ排泄しようとする反応です。たとえば、卵は人にとって大変栄養価が高く大事な食物です。そのため、ほとんどの人は、卵に対するアレルギーは持っていません。ところが、一部の人でこれを食べると蕁麻疹が出たりする人がいます。これは、卵がその人にとっては、有害なものとして、防衛反応が起こってしまうためです。この反応には、人の免疫という機能が深く関わっています。アトピー性皮膚炎もこのアレルギー反応一つと考えられており、液性免疫というものが関わっています。

## 4. 免疫とは？

免疫には、大きく分けて細胞性免疫と液性免疫に分けられます。細胞性免疫は、キラーT細胞やマクロファージを使って、病原菌やウイルスに感染してしまった自分の細胞を攻撃します。液性免疫は、進入してきた、病原菌や有害物質を体の外に排泄する事により体を守ります。この排泄の仕方には二種類あります。一つは病原体に対する抗体を作って、その病原体に結びついて排出する方法。もう一つは、肥満細胞<sup>ひまんさいぼう</sup>などから刺激物質を出して、粘膜から分泌物を出させて、病原体などを一緒に排泄する。この例が、アレルギー性鼻炎の鼻水や、皮膚のかぶれの滲出液<sup>しんしゅつえき</sup>であるわけです。このことから安易にステロイドを使用して、この免疫反応の邪魔をしてはいけないことがおわかりになると思います。(人体に、本当に有害なものの進入も許してしまうことになります。)

5. アトピー性皮膚炎の正体は？

体に進入した、食品添加物、細菌、真菌などを、排泄するため皮膚で起こった炎症（免疫反応）といえます。しかし、人体に有害なものだけを排泄しようとしていればいいのですが、その原因物質が、人体に無害にも関わらず免疫反応が起こるとアトピー性皮膚炎という病態になります。

6. なぜ人体に無害の物質が、有害と認識されるのでしょうか？

人の遺伝子には、自然の食物は、異物として認識しないという情報があらかじめ入力されています。産業革命以後、世の中に新しい物質（人工物質）が作られる様になり人の体に入るようになりました。有害なものが体に入り色々な症状が出るがありますが、これは、公害として認識され世の中から排除されるようになり最近、あまり聞かなくなりました。ところが近年、人体にとって無害なものに対しても症状が出る（アレルギー）人が多くなってきました。これは、我々の免疫にとって人工物質が、遺伝情報の中に存在しないため無害なものとして認識できずに、人の意に反して有害物質として認識され、排除しようと、アレルギー反応が起こるわけです。

7. アトピー性皮膚炎の原因物質と悪化因子にはどのようなものがあるか？

食品、食品添加物、細菌、真菌、化学物質（塩素等）などの原因物質があり、悪化因子として、環境やストレスがあります。

最近、遺伝子組み替え食品が話題になっておりますが、これも原因物質になる可能性が高いと考えられます。

8. 悪化因子とは？

アトピー性皮膚炎の皮膚には、ブドウ球菌などの細菌感染が合併していることが多い、このように不潔な皮膚も悪化要因となります。またストレスは、免疫機能に影響を与えますのでこれも悪化の要因の一つです。

9. 絶対治る治療法はあるか？

近年、インターネットが発達しアトピー性皮膚炎の治療に関してもあらゆるものがあります。それだけに、ご自身にとってどの治療が、一番効くのが判らないと思います。お茶で、良くなったとか、ハーブで良くなったなど様々です。一ついえることは、これで絶対治りますという治療は存在しないということです。なぜなら、アトピーの原因は、一つではないからです。

#### 10. 根本的な治療は可能か？

アトピー性皮膚炎の治療として下記のことが考えられます。

- (ア) 我々の体の中に有害と認識されるような物質を入れない。すなわち、無農薬の野菜や食品添加物の無いものを食べる。
- (イ) 免疫が、有害と認識された物質を、無害と認識させる。免疫反応を起こらなくすること。アレルギー性鼻炎では減感作療法として確立しています。
- (ウ) アレルギー反応を抑える。抗アレルギー剤やステロイド剤による治療。
- (エ) 漢方薬により、体質や症状を改善する。
- (オ) 健康食品は、体質の強化や免疫力を高める。
- (カ) スキンケアは、皮膚の保湿や、清潔に保つことにより皮膚症状を緩和する。
- (キ) メンタルケアは、ストレスなどのアトピーの増悪因子を取り除く。

この中で (ア) は現実的には難しいが努力は大事と思われれます。(イ) については、遺伝子治療等が考えられておりこの中で唯一根本治療です。残念ながら、現在のところそこまで医学は到達しておりません。ということで (ウ) ~ (キ) が現在主流として行われている治療です。これらの組み合わせで自分にあった治療法を見つけなければなりません。

#### 11. ステロイド使用について

最近報告された日本皮膚科学会ガイドラインでは、ステロイド外用剤の有用性が確認され最初に選択すべき治療薬となっています。具体的には、部位や症状に応じて5段階の強さのあるステロイド軟膏を上手く使用することが記載されています。たとえば、顔には使用しないか、弱いステロイドを使用します。また、皮膚症状が軽減したら速やかに、抗アレルギー剤や非ステロイド軟膏に切り替えて様子を見ていくことが重要です。近年ステロイドを悪者に仕立て上げたアトピービジネスという民間療法が増えており、患者さんを混乱させているようです。<sup>まんぜん</sup>漫然としたステロイド使用はアトピービジネスの付け入り口になりますので注意しましょう。しかし、適正な使用は何も怖くはありませんので、指示通り使用しましょう。

#### 12. 新しい治療

最近、非ステロイド系の「プロトピック軟膏」という薬が開発されてかなり有効とされています。顔にも比較的安心して使用できるので、今後治療の主流になる可能性があります。

#### 13. 漢方薬での根本治療は可能か？

一般的に、漢方薬は個々の体質に合わせて処方され健康な体質にする治療です。このことから、アトピー体質というものを漢方で改善すれば治る可能性があります。ステロイ

ドの治療法と漢方の治療法は根本的に考え方が違うので併用するときは注意が必要です。

14. 掻くことはいけないことか？

一般的なステロイド軟膏による治療は、如何に破壊された皮膚を再生するかが勝負の治療です。そのようなときに、皮膚をこすったりいじったりすると皮膚の再生どころでは無くなってしまいますので、我慢することが重要です。

一方、漢方治療では、免疫を強化して有害物質を排泄するという考えもありますので絶対にいけないということではありません。すなわち掻いて滲出液を出すことにより有害物質の排泄を助けるということです。しかし不潔な爪で掻くと感染を起こしてしまいますので、この点は注意が必要です。

15. 治療を途中で中断するとどうなるでしょうか？

ステロイド軟膏などで症状が一時的に改善したら治療を中断してしまう人がいます。これではいつまでもたっても治癒することはありません。非ステロイドの治療やスキンケアを続けることが治癒に至る方法です。治療担当者との信頼関係も重要になってきます。

16. こんなこと言われたことないですか？

(ア)「これを使えば、必ず治る」「〇か月で治る」と患者に期待を抱かせる。

(イ)ステロイド剤を悪者に仕立て「ステロイドにたよってはいは完治しない」と宣伝する。

(ウ)自分の療法による症状の悪化を「好転反応」と位置づける。

以上のことがみ身に覚えがあればアトピービジネスの可能性が 있습니다。アトピービジネスとは、患者さんの弱みにつけ込んで高額な商品売りつける商売のことです。